実習内容
ならびに
スケジュール

救急科（１週目）

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	８：55	集合	上垣内・渡邉	８：55	救急医局前
	９：00	実習前オリエンテーション	上垣内・渡邉		
	９：30	課題オリエンテーション	平田教授		
	10：30	記録説明	上垣内・渡邉		
	10：45	施設案内	上垣内・渡邉		
	11：15	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
火	８：30	カンファレンス参加	渡邉	８：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	渡邉		
	14：00	講義（災害医療・災害薬事）	渡邉	13：55	救急医局
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	渡邉		
水	８：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	８：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	14：00	講義（集中治療・画像診断）	宇仁田	13：55	救急医局
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
木	８：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	８：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	14：00	講義（BLS）	上垣内	13：55	救急医局
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
金	８：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	８：25	カンファレンス室
	10：00	教授回診	平田教授	カンファ後	
	10：30	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	14：00	講義（JATEC・骨盤外傷）	宮脇	13：55	救急医局
	16：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		

実習内容
ならびに
スケジュール

救急科（2週目）

曜日	時間	内容	担当	集合時間	集合場所
月	8：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	8：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	14：00	講義（担当患者、課題）	宇仁田	13：55	救急医局
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
火	8：30	カンファレンス参加	渡邉	8：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学			
	10：30	講義（輸液管理）	村上	10：25	救急医局
	11：30	課題学習、患者情報収集、初療見学	渡邉		
	14：00	講義（救急・集中治療薬剤）	渡邉	13：55	救急医局
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	渡邉		
水	8：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	8：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	11：00	講義（担当患者、課題）	平田教授	10：55	救急医局
	12：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	14：00	講義（ABG）	佐藤	13：55	カンファレンス室
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
木	8：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	8：25	カンファレンス室
	10：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
	14：00	講義（ALS、ECG）	上垣内	13：55	救急医局
	15：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		
金	8：30	カンファレンス参加	上垣内・渡邉	8：25	カンファレンス室
	10：00	教授回診	平田教授	カンファ後	
	11：00	総括（総括）	平田教授	10：55	救急医局
	12：00	課題学習、患者情報収集、初療見学	上垣内・渡邉		

◎　診療科名：　救急科

◎　責任者氏名：　平田　淳一　主任教授

◎　指導教員氏名：　山田　太平　准教授

◎　実習概要

1.カンファランス、2.教授講義、3.病棟実習、4.クルズス、5.救急初療実習、6.集中治療管理実習、7.災害・外傷（DMAT、国境なき医師団）講義、8.ドクターカー実習、9.地域メディカルコントロール、10.その他各種検査・処置・治療の見学などを行い、救急災害医療領域において的確な診断と治療方針の立案を目指す。

＜ローテーション＞
「眼科/形成外科」「救急科」で4週間ある。各グループ（12名～13名）は以下のように班分けをして3診療科の実習を行う。各診療科への班分けについては「通し番号」で行う。

通し番号１・２・３の学生は、第1週目に眼科、第2週目に形成外科、第3・4週目に救急科。
通し番号4・5・6の学生は、第1週目に形成外科、第2週目に眼科、第3・4週目に救急科。
通し番号7・8・9の学生は、第1・2週目に救急科、第3週目に眼科、第4週目に形成外科。
通し番号10・11・12・13の学生は、第1・2週目に救急科、第３週目に形成外科、第4週目に眼科。
※特別カリキュラム受講学生のうち臨床実習に回らないものがいるグループにおいても各個人の「通し番号」を元に上記内容で班分けとする。

◎　各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）
・救急領域における主要疾患について、初療対応のためのアセスメント方法、フィ

ジカルアセスメントができる。

- 救急集中治療領域における重要臓器別アセスメントのための基本的アプローチ方法の考え方と、主たる検査（血液性化学データ、画像検査）から病態把握を習得できる。
- 多発外傷、重症外傷に対する初期対応ができる。
- BLS ができる
- 救急終末期患者の立場に立った家族対応を学ぶ。

◎　事前学修内容(時間)

- 4 年次の講義資料をよく復習すること（2 日）
- BLS の復習すること（1 日）

◎　評価方法

（知識、技能、態度について S、A、B、C で評価。評価基準をルーブリックで明示）。

	S	A	B	C
知識	担当患者の病態に対する治療を説明できる。	担当患者についてアセスメントができる。	担当患者の疾患の概略を説明できる。	担当患者について把握していない。
	レジデントレベルの内容は十分理解している。	国家試験レベルの内容は十分理解している。	医学生レベルの内容は十分に理解している。	医学生レベルの理解が不十分である。
技術	病態に剃ったフィジカルアセスメントができる。	病態にはそわないがフィジカルアセスメントができる。	基本的なフィジカルアセスメントができる。	フィジカルアセスメントができない。
	後輩に診察法や検査を指導できる。	必要な検査を実施し結果を説明できる。	問われた内容に説明できる。	問われた内容を説明できない。
態度	さらなる興味を持ちノルマ以上をこな	積極的で質問もよくする。	ノルマはこなしているが、やや消極的。	消極的で質問がない。

	す。			
	患者さん、コメディカルと良好なコミュニケーションが取れる。	患者さん、コメディカルに社会的対応ができる。	患者さん、コメディに挨拶程度はできる。	患者さん。コメディカルとコミュニケーションが取れない。

◎　パフォーマンス評価

実習中以下の評価を行う。
第２週の金曜日に総括を行う。

◎　中間評価とフィードバック

平田教授の講義のあと、初療症例や担当患者のフィードバックを行う。

◎　注意事項

・初日は９時に救急医局に集合すること
・デイリーレポートや患者の個人情報を書いた用紙は、実習終了時に毎日医局へ提出し帰宅すること
・講義課題レポートは、最終日の 17:00 までに Moodle2 へ提出すること・毎朝８時 30 分からのカンファレンスに必ず出席すること